

非製造業の景況DIはマイナス60台まで回復するも、製造業は再び悪化

9月の情報連絡員報告によると、前年比の景況		各項目のDIの動き（前年同月比）			
DI値は非製造業は1年半ぶりにマイナス60台まで数値をもどしたものの、徐々に回復していた			全 体	製 造 業	非製造業
製造業は再び悪化状況を示した。		売 上 高	😊	😊	😞
製造業は売上高が回復傾向にあるものの、収益状況が落ち込んでいることが景況の悪化につながっている。情報連絡員からの具体的報告では、過当競走や大手業者の安値攻勢など、売上げが伸び悩む中で、さらなる苦境に立たされている中小企業の現状がよせられている。		在 庫 数 量	😞	😞	😊
【製造業63人、非製造業87人、計150人の集計】		販 売 価 格	😞	😞	😞
		取 引 条 件	😞	😞	😞
		収 益 状 況	😊	😞	😊
		資 金 繰 り	😞	😞	😞
		設備操業度	😞	😞	—
		雇 用 人 員	😞	😞	😞
		業界の景況	😊	😞	😊

😊 …増加、上昇、好転
 😞 …減少、低下、悪化
 😞 …減少、低下、悪化

✓ 行政庁・中央会に対する主要要望事項

集計上の分類業種	具体的な業種	主 要 要 望 事 項
窯業土石	砕石製造業	リサイクル原則化ルールにより、需給バランスが考慮されずリサイクル骨材の使用が求められているため、採石製造業者の経営を圧迫している。このため、業界ではリサイクル骨材利用が適正に行われるよう、国土交通省に陳情を行っている。
鉄鋼・金属	鍍金加工業	受注確保が最重要課題であるが、補正予算の見直しや、金融不安の再燃による二番底が懸念され、希望が見いだせない。効果的な景気浮揚策を講じてほしい。
繊維・同製品	帽子製造業	業界で実施する研修会等の教育事業に対する助成措置について、申請手続きの簡素化を望む。
	帆布製品製造業	新政権の下で施策の見直しが行われているが、中小零細事業者は長引く不況下で疲弊しており、金融施策等、景気回復の手段を一刻の猶予もなく講じてほしい。
建 設	建具工事業	「いろいろ手を尽くしているにもかかわらず業績が伸びない」と嘆く組合員が多い。賃金も減らさざるを得ないという危機的状況で苦しんでいる。こうした状況を立て直すため即効性のある仕事づくりをお願いしたい。
食 料 品	製 麵 業	販売価格が下がり続けており危機感を感じている。物価上昇策を講じてほしい。
運 送 業	港湾運送業	日本政策投資銀行からの借入れ金利が高率であるため借換えを望む声があるが、応じてもらえないとのこと。中小企業の現状を鑑み、金利の軽減をお願いしたい。
卸 売	家具卸売業	山林を放置することで災害の発生が懸念される。そこで、建築・家具製造・紙業等が連携し、間伐材を一手に引き受け活用するといった方策に国は力を貸していただきたい。
小 売	酒小売業	酒類の公正な取引環境の整備のために酒税法を補完する新たな法律の整備を求める。

平成21年
9月

業 界 の 声

製 造 業		
集 計 上 の 分 類 業 種	具 体 的 な 業 種	組 合 及 び 組 合 員 の 業 況 等
食 料 品	麵製造業	食品スーパーや外食産業において値下げ競争が進んでおり、先行きが危ぶまれる。
	中華麵製造業	8月盆明けから売上げが急落。4月から連続して前年割れという組合員が多数いる。
	製 粉 業	現在出回る平成21年度産の国産小麦価格は前年比平均39%値上がりしている。中小製粉会社は顧客に国産麦使用製品値上げの理由説明に四苦八苦している。
繊維・同製品	帽子製造業	粗悪な帽子が市場に出回っており業界の信用を落としている。
	帆布製品製造業	9月の売上げも依然、低迷したが、シルバーウィーク等の大型連休により実働日数が減少したことも一因として考えられる。従来9月はイベントが多く催されるためテントなどの需要期であるが、本年は惨憺たる状況だった。
	洋服製造業	景況はさらに悪化。最低賃金の見直しや労基法の改正が行われた場合、工場経営の継続は不可能と思われる。
	ニット製品製造業	秋冬物が売り出されたと同時にバーゲンセールが始まっている。衣料業界は益々苦境に追い込まれている。
紙・紙加工品	紙製品製造業	前年比で売上げは減少している。販売価格は前年より原材料価格の上昇分の転嫁が進んでいるが、売上数量が落ち込んでいる。
印 刷	印刷業	経済産業省の統計で印刷物の生産金額が2桁の落ち込みを示しているとおおり、需要回復の兆しは全く見えない。
		組合非加入のアウトサイダーが組合員に対し廉価で下請けの売り込みを行なっているなど、仕事量の減少が様々な影響を及ぼしている。
化学ゴム	プラスチック製品製造業	前月に比べ売上げは若干増加している。ただし各社とも販売価格の値下げを要求されており、収益状況は悪化している。
	ゴム製品製造業	好転し始めている組合員がいる一方、前年比を50%割っている組合員もあり、格差が広がっている。
窯業・土石製品	コンクリート製品製造業	売上げの減少は続いており、回復の目処が立たない。
		収益状況の悪化が続く。公共工事、特に道路関連の削減の影響が大きい。
鉄鋼・金属	金属熱処理業	突然急ぎの仕事が入る一方、予定していた仕事の注文がこないといった現在の状況は正常な回復状況とは言えない。半年先の需要予測すら立てることができない状況にある。
	金庫製造業	金庫業界も厳しい状況にあるが、僅かながら回復の兆しが見える。組合からの脱退者も現れず、各組合員とも何とか踏みとどまっている。
	鋳物製造業	多少動きのあった受注量も、9月に入り停滞傾向にある。原材料、副資材の一部が値上がりしている。
	鍍金加工業	売上高・受注量とも前年比約5割減の深刻な状況にある。一部に持ち直しの動きがあるが、全体には及んでいない。
	製 缶 業	お中元時期やシルバーウィークにおいても消費は伸び悩み、一般缶の売上げにもつながらなかった。
	建築金物製造業	住宅着工件数が下げ止まらず、売上げの減少が続く。
	ダイカスト製品製造業	それぞれが持つ顧客の状況に応じて、組合員の景況の回復度合いに差が生じている。依然として3勤4休の企業もあれば、週休2日に戻しているところもある。
一般機械	木工機械製造業	新築住宅着工件数は前年比62%で9ヶ月連続の減少。とても新たな設備を導入しようとする機運は見られない。
	写真製版機械製造業	印刷料金の過当競争は材料価格にも影響している。
その他の製造	ガス圧接業	受注単価の下落が激しく資金繰りに影響が出ている。着工数は依然として停滞しており、稼働率は半分くらいになっている。
	スポーツ用品製造業	「健康の為にスポーツ」との考え方が強まり、都内デパートでもスポーツ用品売り場の増設が進められている。スポーツ人口の増加を期待している。

平成21年
9月

業 界 の 声

非 製 造 業		
集 計 上 の 分 類 業 種	具 体 的 な 業 種	組 合 及 び 組 合 員 の 業 況 等
卸 売	電線卸売業	依然、建設用や電気機器用电線の売上げは低迷。販売価格も下落している。
	再生資源卸売業	先行きの不安定感があるものの、再生資源物の市況は落ち着いている。
	セメント建材卸売業	9月の共同購買事業実績は前年比137.5%。前年比・前月比とも実績は増加した。合材メーカーから価格の値下げ要求がなされているが、来月は据え置く予定である。
	食器卸売業	シルバーウィークに向けた外食産業等からの受注増を期待していたが、当てが外れ前年実績を大きく下回った。
	木材卸売業	売上は低調。国産材・外国産材とも仕入値は上昇基調にあるにもかかわらず、売値に転嫁出来ない。
	美容用品卸売業	全国的に取引先メーカーの業績が悪化している状況にあり、業界イベントへの協賛や参加の状況が芳しくない。イベントの一部見直しも検討中である。
	紙卸売業	需要期に入り売上げは若干回復したものの、依然として状況は厳しい。
	玩具卸売業	年末・年始商戦の鍵となる、当方主催の玩具見本市が開催された。各種見本市では来場者数の減少が相次いでいるが、当方の見本市においても前年比5%ダウンとなった。しかしながら現状にあっては健闘したと言える。
	青果卸売業	青果仲卸の仕入状況は、前年比88%となっている。
	食品卸売業	ビール系飲料の売上げが大幅にダウン。発泡酒等安価品は売上げを伸ばしている。
	ニット製品卸売業	低価格競争に拍車がかかり企業間の体力勝負といった様相が続く。資金繰りがこれ以上厳しくなると、倒産に至るケースの増大が懸念される。
	食品卸売業	新型インフルエンザによる学級閉鎖が頻発した場合、学校給食向けの売上の減少や食材の処分などの問題が懸念される。
小 売	タイヤ小売業	大手カーショップが海外ブランド（中国・東南アジア）の格安タイヤを目玉商品として販売している。ユーザーも性能よりも価格で購入するケースが増えている。
	包装材料小売業	ダンボール、粘着テープ等、包装資材の売上状況は依然として厳しい。文房具通販大手が平均8.1%の値下げを行っており、その影響を見守っている。
	青果小売業	青果物の消費量が年々減少している。特に果物の売上げが伸びず、経営に大きく影響している。
	自動二輪小売業	新車販売が減少し、ユーザーが長期間、現有車を使用する傾向があるため、全国の組合組織は国土交通省後援の元、「定期点検制度」をスタートさせた。
	化粧品小売業	メーカーが取引要件を変更しつつあり、組合員に不満が出ている。地域の商店街は人手が少なく閑散としている。
	文具小売業	メーカーはエコや使いやすさを追求した新商品を開発しているが、消費者の購買意欲をかき立てることが出来るかは未知数である。
	食品小売業	生鮮（青果・水産・畜産）部門の前年割れの影響で全体の数値が引き下がった。生鮮品は仕入れ相場も低かったため、店頭価格も下がったにもかかわらず、購買数量の伸びにつながらなかった。
	電器製品小売業	液晶テレビは好調に推移。売れ筋の画面サイズが益々小さくなり、2台目需要が活発化していると思われる。エアコンは前年比半分以下。冷蔵庫は横ばい。洗濯機は10%ダウン。アナログ停波に向けて、高齢者世帯等を対象とした受信相談を国からの委託により戸別訪問形式で実施する予定。対象件数は都内で10万世帯程度になる模様。
	中古自動車小売業	各新車販売ディーラーが中古車販売に力を入れており、中古車販売店の在庫が極端に不足する状況に陥っている。
	衣料品小売業	おおむね気温が低く、秋物の売りだし条件に恵まれたが、上着類を中心に売上げは伸びず、前年実績に達しなかった。
	文具小売業	シルバーウィークにより営業日数が減少したにもかかわらず、売上げは前年比109%と健闘している。しかしながら収益は低く、景気が上向いているとは考えられない。
	古書籍小売業	景況には底打ち感があるものの、一進一退といったところである。10月にイベントを開催するが、業界の活性化につなげたい。
	自転車小売業	天候不順の影響で来店者数が減少。自転車修理の売上げが全体的に落ちている。
	各種小売業	売上げが減少する中でカード決済の比率が上昇し、一時的に資金が不足するため、仕入れ等に影響を来している。

小 売	ペット小売業	毎年、売上げの伸び悩む時期であり、本年も厳しい状況であった。鳥たちは換羽（羽の生え替わり）の時期を迎えたが、景況の低迷状況は全く変わらない。
商 店 街	秋 葉 原	32型以下の液晶テレビが動いている。販売価格は低下傾向。レコーダーもブルーレイタイプよりも廉価機種が中心。小型を中心にパソコンは堅調。家電関連はインフルエンザ需要で加湿器、小型空調機器等が堅調。
	目 黒	各項目の減少幅は小さくはなっているが、いまだ景況は厳しい。
	銀 座	前月と比べ、多少売上げは伸びたが、秋の商戦は動かなかった。
	合 羽 橋	シルバーウィークにより営業日数が減少したものの、ほぼ前年と同水準の売上げを確保した。しかしながら、2年前と比べると大幅に減少している。
サ ー ビ ス	廃棄物処理業	廃棄物の排出量減少で売上高は悪化。再生資源物の価格は若干回復しているが、採算も厳しい。
	クリーニング業	クリーニングの利用頻度を調査したところ、低所得層ほど利用頻度が低いという結果になった。丁寧な仕事と信頼関係により高額所得層の顧客を多く獲得している組合員ほど元気である。
	複 写 業	資材の仕入れ価格は減少傾向にあるが、公共工事の削減や民間建設工事の低迷に伴い、需要の回復の見通しが立たない。賃金の引き下げや雇用に手をつけざるを得ない状況である。
	飲 食 業	シルバーウィークの影響もあり、売上は減少した。廃業・組合脱退が続いている。
	公衆浴場業	8月末までの廃業数が4件に止まっていたが、9月に入り4件が廃業。今後の情勢を予測しかねる事態となっている。
運 送	貨物自動車運送業	月により売上高の変動が激しく、資金計画等が立てづらい。また、得意先の業種や事業規模によって受注量に差が生じている。
	港湾運送業	外航船舶取扱量は輸出入とも減少。前年比9.7%減少。5ヶ月連続のマイナス。内航船舶取扱量は自動車等の落ち込みにより前年比9.5%減。28ヶ月連続で前年を割り込んだ。
建 設	建具工事業	「いろいろ手を尽くしているにもかかわらず業績が伸びない」と嘆く組合員が多い。賃金も減らさざるを得ないという危機的状況で苦しんでいる。こうした状況を立て直すため即効性のある仕事づくりをお願いしたい。
	内装工事業	新築工事はもとより、リフォーム工事も低調で、厳しい状況が続いている。